

平成 29 年度

# 学生によるオレンジリボン運動

## 四天王寺大学 実施報告書



実施主体 四天王寺大学人間福祉学科健康福祉専攻 1 年生

実施内容 大学祭来場者へのメッセージ付きオレンジリボンの配布など

### ①事前に取り組んだ内容

「児童虐待の実態とオレンジリボン運動の意義」について学習した後、上記 73 名で、11 のグループに分かれて、オレンジリボン、メッセージカード（2 種類）、チラシ（4 種類）、パネル（4 種類）を作った。

大学祭の 1 週間前には、広報班の学生が、大学の 1 年生全員に対して、「オレンジリボン運動の意義」を説明して、大学祭当日の活動内容を紹介した。

### ②実施期間に取り組んだ具体的内容

大学祭期間中は、来場者に、手分けして、パネルを示しながら、メッセージカード付きのオレンジリボンやチラシなどを渡しなが、児童虐待の防止を訴えた。

それと同時に、教室前に、ポスターを貼り、パネルを置いて、来場者に自由にメッセージを書いてもらい、それを掲示することも行った。

### ③オレンジリボン運動を終えて……

①②に示した活動を行うことによって、児童虐待についての学生の認識は確実に深まったようである。

例えば、児童虐待の種類、その多さと深刻さ、それを防止する方法などについて知ると同時に、少しでも減らしていこうという気持ちが強くなった学生が多くみられた。

さらに、まだオレンジリボン運動があまり知られていないと気づいた学生のなかには、今後も、この運動を盛んにしていくことが絶対必要であると痛切に感じている人も多くいた。

